

地域の宝を活用した“こみち”整備

※こみち：街道を補完する路線。新編会津風土記に記載されている。



こみちの交流会による
菅滝周辺遊歩道整備



菅滝が望める展望デッキ



こみちの交流会による
馬入峠堡壘跡の調査



整備された待避所



馬入口止番所跡



水芭蕉群生地



隠津島神社



舗装された砂利道



景観に配慮した防護柵

こみちの交流会でデザインした案内標識



“こみち”による地域間交流

郡山市湖南地区

郡山市、天栄村

県中建設事務所
計画期間：H20～H21

地域づくりの方針

湖南町地区と羽鳥湖周辺地区間で、「地域を良くしよう」という共通するテーマで活動している各地域の諸団体の知識の共有化や活動の連携等、交流を進めることで、羽鳥福良線を「現代のこみち」として有効に活用し、両地域の発展を目指します。

主な事業内容

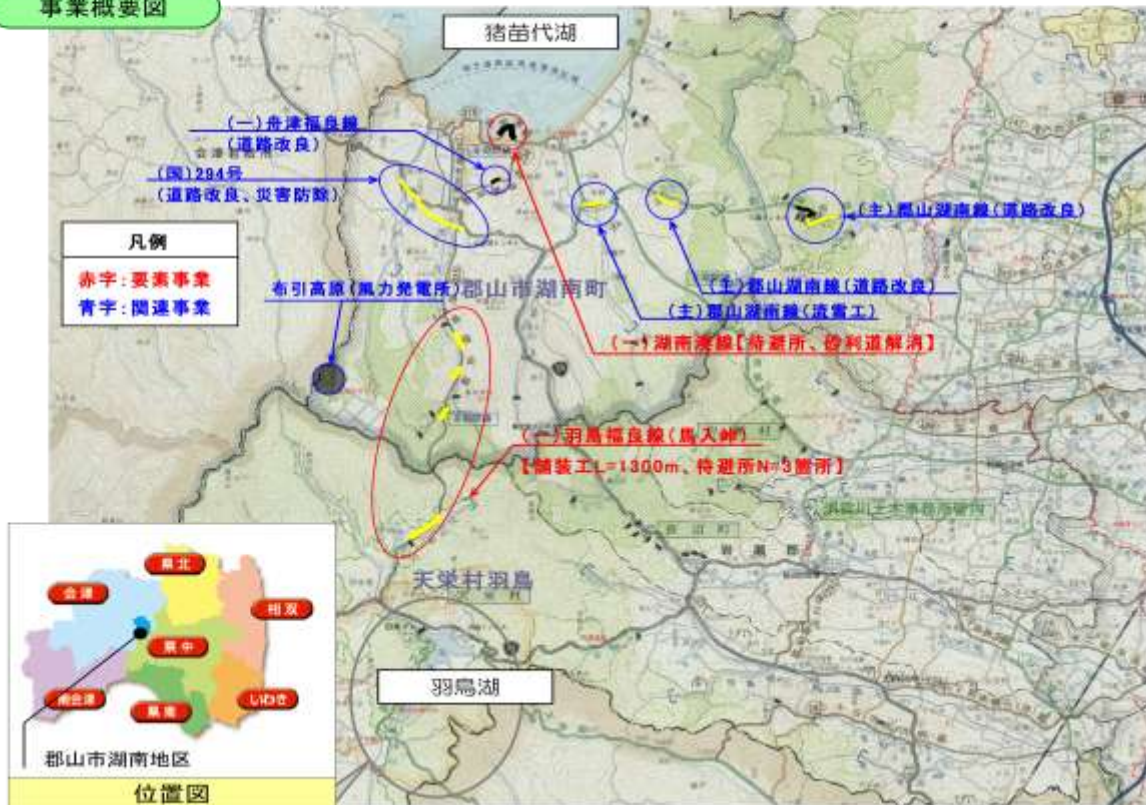
天栄村羽鳥地区と湖南地区の交流連携支援のため、

舗装工、待避所設置

を実施しました。



事業概要図



地域の現状

湖南町は、豊かな自然景観等、恵まれた資源を有しながら、有効活用できず、過疎化等が進行しています。そのため、住民主体の「しゃべってみねがい湖南」により、活発な議論が交わされています。

羽鳥湖周辺地区は、年間50~60万人の来訪者を迎える観光地です。しかし、近年の観光客減少による地域産業の不振などの課題を抱えています。そのため、住民主体の「羽鳥湖高原活性化協議会」を設立し活動しています。

交通面では、国道294号黒森峠が開通し、会津方部からのアクセスが改善され、現在整備中の県道郡山湖南線の部分開通も見込まれることから、郡山市街地との一層の連携強化が図られることとなります。

平成16年度から「いどばた会議」を開催し、地域住民主体の取組を展開中です。

地域づくりのあゆみ

平成16年

・地域が主体となり「いどばた会議」を組織、湖南地区全地区の住民で、様々な地域の課題について話し合うことをはじめ。

平成17年

・いどばた会議で、自然の大切さについて再確認される中、湖南湊線の砂利道解消、視点場の整備工事を実施することとする。(～H18)

平成18年

・いどばた会議の名称を「しゃべってみねがい湖南」とし、話し合いの中から「ばっばの会」などの実働部隊が活躍するようになる。
・湖南湊線の砂利道解消、視点場の整備で、地域のかたとの話し合いの中から、地場産の間伐材を有効活用した転落防止柵を設置、地域と調和した景観整備を図った。

平成19年

・羽鳥福良線で結ばれた縁で、郡山湖南地区と天栄村羽鳥・湯本地区の交流が始まる。
・豊かな自然環境が地域の宝であることを相互確認すると共に、地域間交流を進めていくことを確認した。

平成20年

・羽鳥福良線の砂利道解消、沿道修景整備を実施することとする。
地域の皆さんとともに道路を歩き、その良さを再確認しながらの工事計画を進める。

元気づくりの立役者たち

猪苗代湖・磐梯山



青松浜



梅花藻の群生



布引高原



事業の効果

■検討機関の開催、地域資源の周知

- ・「しゃべってみね会」がH19、4より、行政の手を離れ自立しました。懇談会は、地域住民主導で行われています。
- ・特産物の直売や、周辺環境の手入れ、史跡のPR、観光マップの作成等。
- ・元気ふくしま事業が完了した後も、しゃべってみね会い湖南は、引き継がれ、様々な地域課題について継続的に議論を実施しています。

しゃべってみね会い湖南



他地域との交流連携



■連携強化に向けた取り組みの拡大

- ・天栄湯本地区、羽鳥地区、湖南地区で交流連携に積極的に取り組んでいます。
- ・こみち（県道羽鳥福良線）の交流をとおして、貴重な地域資源の再発見に対する意識が格段に向上し、地域の方が積極的に地域づくりに参加しています。

地域の課題・今後の展望

- ・高齢化が進んでおり、若者の定住に苦慮しています。
- ・布引高原や猪苗代湖などの地域資源がありながら、地域活性化に活かされていないため、自然環境資源を活かしながら自然体験学習等のエコツーリズムを検討中です。

関係機関

- 福島県 県中建設事務所 道路課
- 郡山市湖南行政センター
- しゃべってみね会い湖南

TEL : 024-935-1431

TEL : 024-983-2111